

シングルレバーデッキバスシャワー化粧カバー施工説明書 (お客様にお渡しください)

| | | |
|-------|----------|--------|
| 機種名 | 一般地用品番 | 寒冷地用品番 |
| アリュール | 1931600J | |

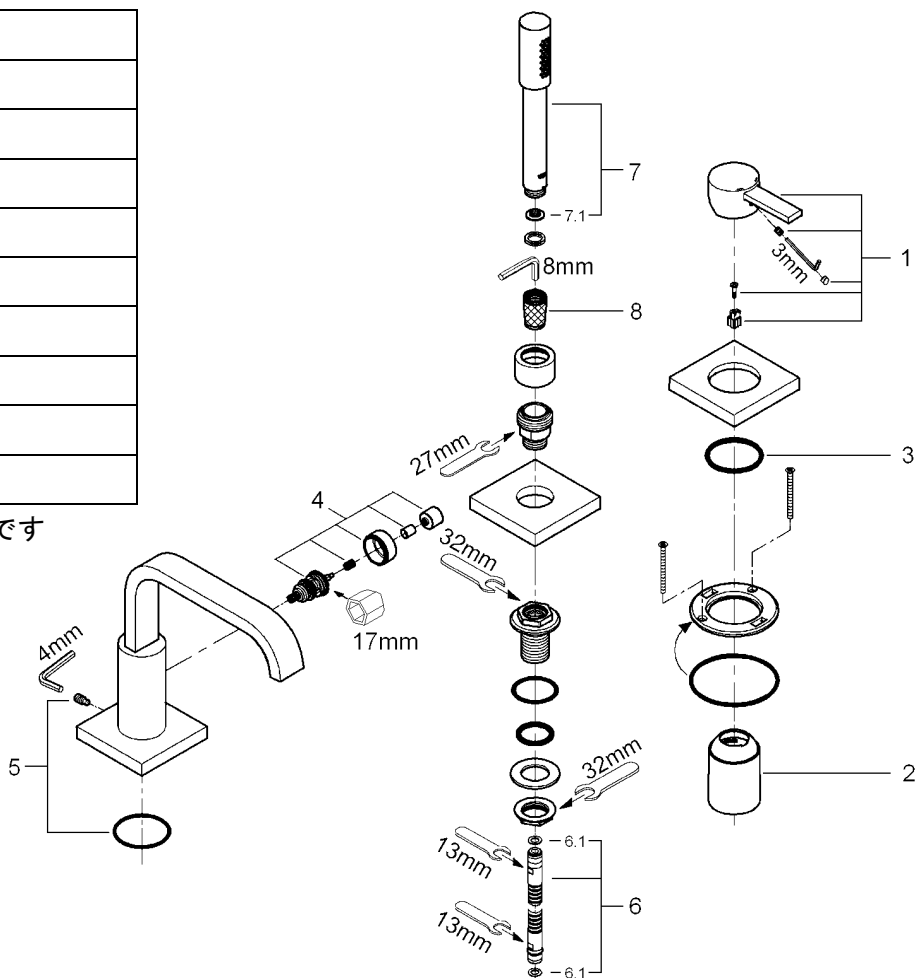
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
 - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

| 図番 | 名称 |
|-----|---------|
| 1 | レバーセット |
| 2 | 化粧カバー |
| 3 | パッキン |
| 4 | 切換弁セット |
| 5 | 固定ビスセット |
| 6 | ホース |
| 6.1 | ホースパッキン |
| 7 | シャワーヘッド |
| 7.1 | ストレーナ |

※図は1931600Jです



安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないとは使用できません。

● 取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

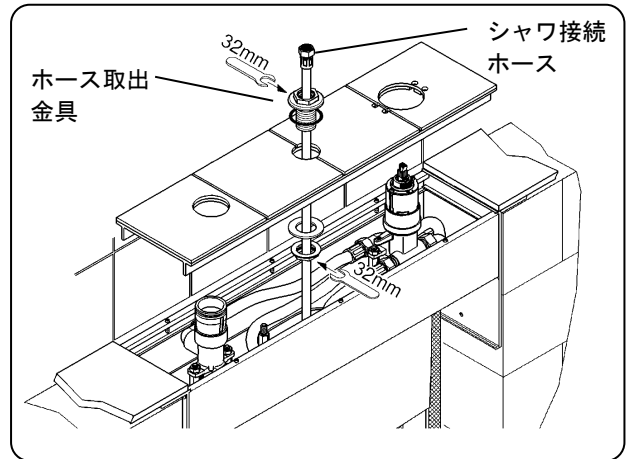
● 給水・給湯ブレードホースの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ（TP1/2, R1/2）には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

ホース取出金具の取り付け (図1参照)

デッキプレートをコーキング等でシールする前に、ホース取出金具を取り付けてください。

- ①デッキプレートに化粧カバーのホース取出金具を工具 (32mmスパナ) で取り付けます。
- ②埋込ボックスのシャワ接続ホースをホース取出金具の穴に通します。
※デッキバスシャワー混合栓 3333900J を取り付けの際に、作業を完了してください。

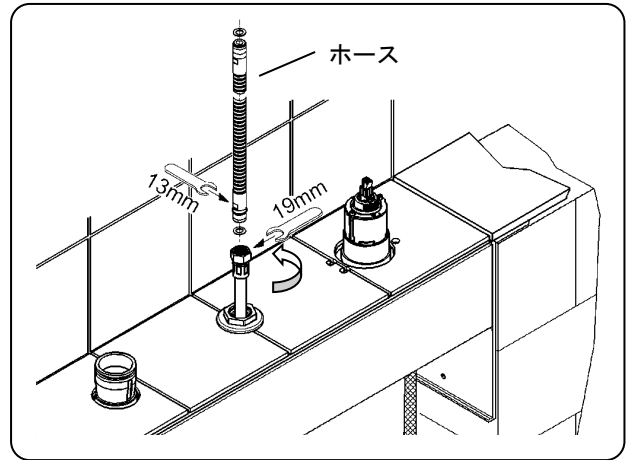
図1



1. ホースの取り付け (図2参照)

- ①ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワ接続ホースの袋ナットを工具 (19mmスパナ) で右回しにねじ込みます。
※ホースに上下はありませんが、下部にオーリング付側のねじ部を使用してください。

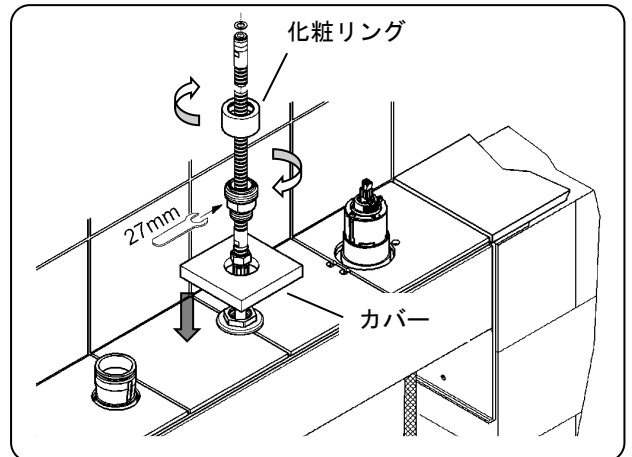
図2



2. シャワーホルダーの取り付け (図3参照)

- ①シャワーホルダー用カバーには左右裏表がありますので、キリカキが付いている面をカウンター側にします。
- ②カバーを仮置きにして、ホース取出金具にシャワーホルダーを工具 (27mmスパナ) で右回しにねじ込みます。
- ③シャワーホルダーに化粧リングを手で右回しにねじ込みます。
※化粧リングがシャワーホルダーにねじ込んである場合は、ゆるめて分解してください。

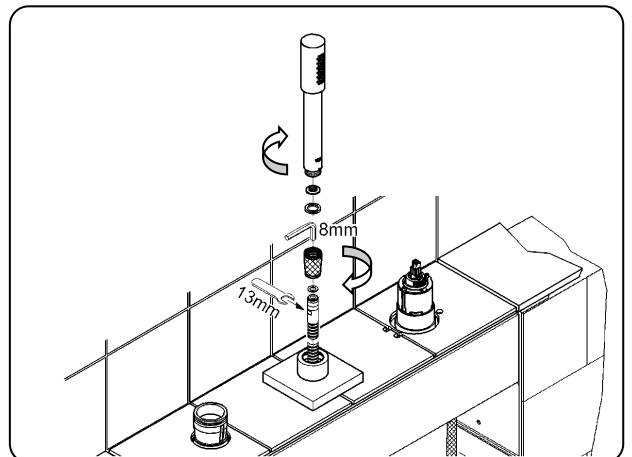
図3



3. シャワーヘッドの取り付け (図4参照)

- ①ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワニップルを工具 (8mm六角レンチ) で右回しにねじ込みます。
- ②シャワニップルにパッキンが付属しているのを確認してください。
- ③シャワーヘッドの入口部分にストレーナを手で差し込みます。
- ④シャワニップルにシャワーヘッドを手で右回しにねじ込みます。
※ストレーナはシャワーヘッドに付属している場合があります。

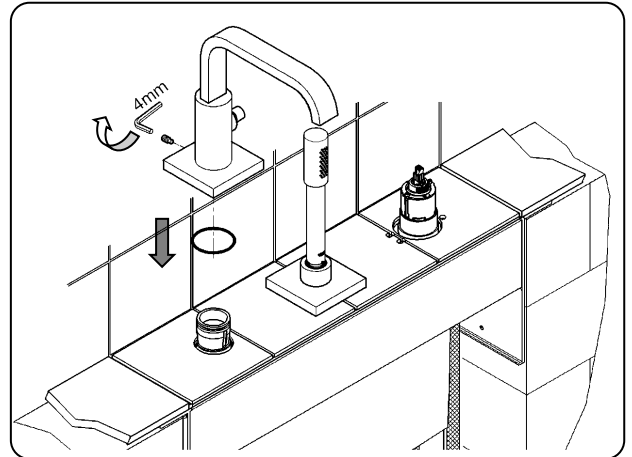
図4



4. 吐水口の取り付け (図5参照)

- ①埋込本体の吐水口ニップルのオーリングにグリスを塗ります。
- ②ニップルにパッキン、吐水口を手で差し込みます。
- ③吐水口の固定ビスを工具 (4mm六角レンチ) で右回しにねじ込みます。
※固定ビスの位置はニップルの溝の範囲以内になります。

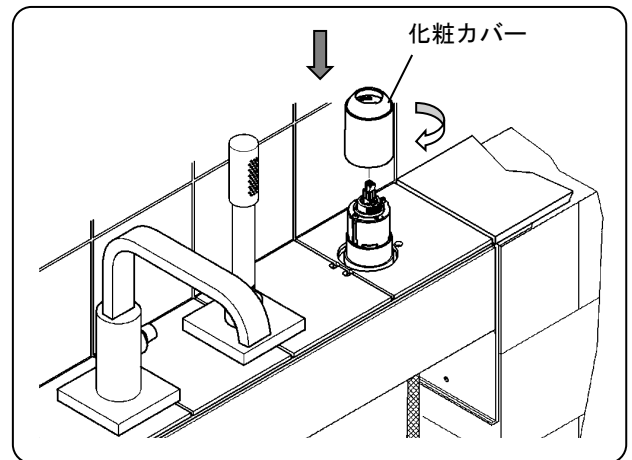
図5



5. 化粧カバーの取り付け (図6参照)

- ①埋込本体のバルブに化粧カバーを手でいっぱいまで差し込み、手で軽く右回しに取り付けます。
※化粧カバーの若干のガタつきは構造上発生します。部品の不良ではありませんので、ご使用に関しては何ら問題はありません。

図6

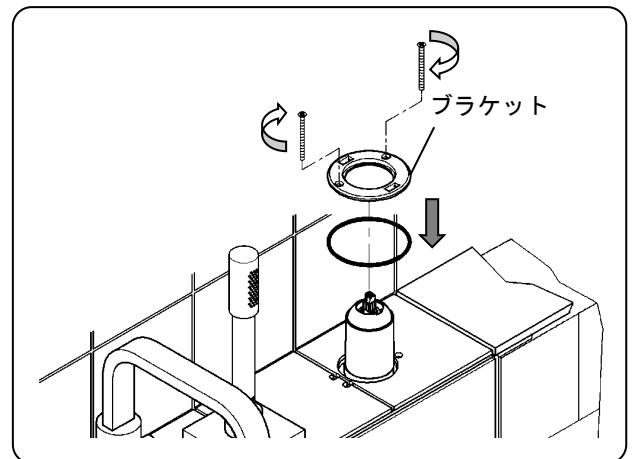


6. 化粧プレート

ブラケットの取り付け (図7参照)

- ①ブラケットには左右裏表がありますので、キリカキが付いている面をカウンター側、取付ビス用の穴を後側にします。
- ②パッキンをブラケットのキリカキに取り付けてください。
- ③化粧カバーにブラケットを手でいっぱいまで差し込みます。
- ④埋込本体に付属の取付ビスをドライバー等で左右均等に右回しにねじ込みます。
ブラケットの固定はパッキンがカウンター面全体に密着し、尚且つ湾曲しないようにしてください。
※パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。

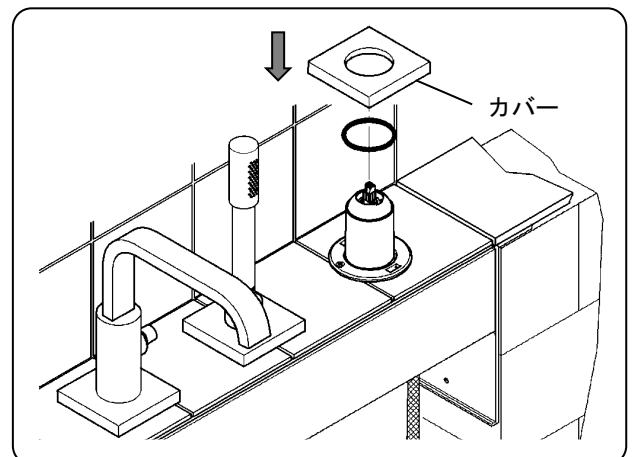
図7



カバーの取り付け (図8参照)

- ①カバーには左右裏表がありますので、キリカキが付いている面をブラケット側、爪を後側、前側にします。
- ②パッキンをカバーのキリカキに取り付けてください。
- ③ブラケットの穴にカバーの爪が入るよう手で強く押し込み、取り付けます。
※カバーがどうしてもグラつくときは、コーキング等のシール材を使用してください。

図8

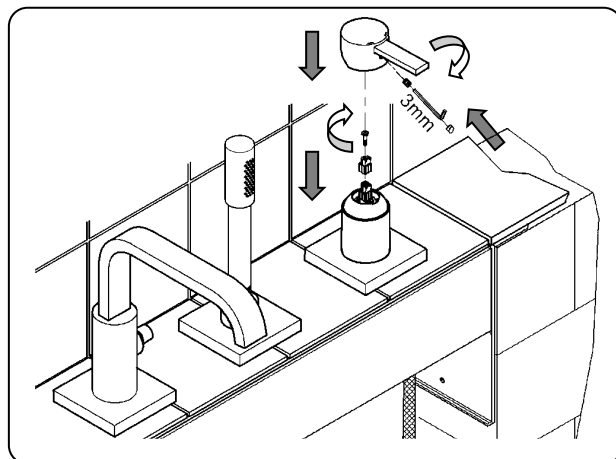


施工手順

7. レバーの取り付け (図9参照)

- ①セラミックカートリッジにインサートを手で差し込んでください。インサートには向きがあります。平らな面を下にしてください。
- ②インサートにスクリューをドライバー等で右回しにねじ込んでください。
- ③インサートにレバーを手で差し込んでください。
- ④レバーのスクリューを3mm六角レンチで右回しにねじ込んでセラミックカートリッジに固定してください。
- ⑤レバースクリューの穴にキャップを手ではめ込んでください。
※レバーは最後まできちんと差し込んでください。
※キャップは小さいですので紛失に注意してください。

図9



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

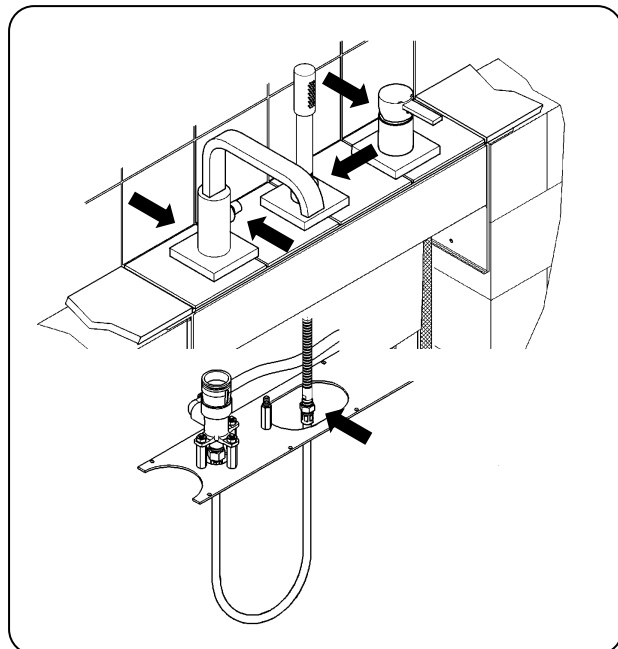
1. 接続部の水漏れ (図10参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 本体とレバーの接続部。
- 本体と吐水口の接続部。
- 吐水口と切換弁の接続部。
- シャワーヘッドとホースの接続部。
- ホースとシャワ接続ホースの接続部。

※通水後漏水のない事を必ず確認してください。

図10

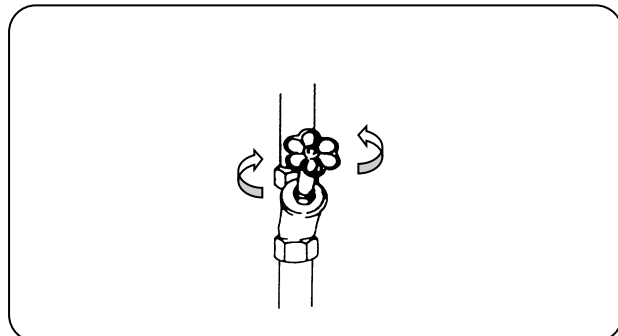


2. 水量・湯温の調節 (図11参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

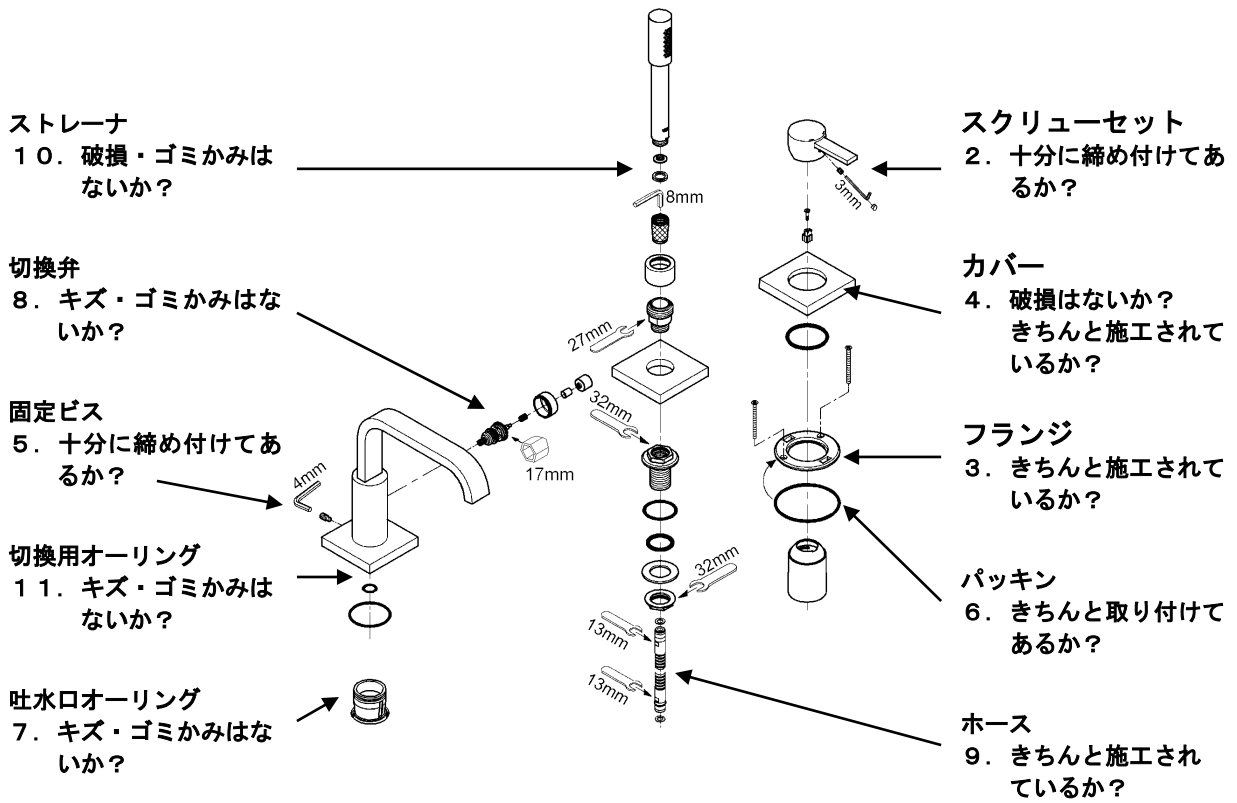
※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図11



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。



止水栓
1. 全開されているか?
圧力は十分か?



| 現象 | 点検箇所 |
|-------------|-------|
| レバーがガタつく | 2 |
| フランジがグラつく | 3 |
| カバーがグラつく | 4 |
| 吐水口がガタつく | 5 |
| 吐水口より漏水する | 7 |
| カウンター内に漏水する | 6 |
| 床面より漏水する | 7. 9 |
| シャワーに切り換らない | 8. 11 |
| シャワー量が少ない | 1. 10 |